



作品名 **キュービクーライン**
 作者 吉見 岳洋 YOSHIMI Takehiro
 神田 每実 KANDA Tsunemi
 寸法 80(幅)×80(奥)×80(高さ)cm
 展示場所 町道石田・杵ヶ池線
 (にぎわいのステージ)

■コメント
 この作品は、原材料として準備した花崗岩の立方体(キュービク)に対し、線(ライン)を引く(ー)行為によって形作られている。引く(ー)行為を付加(+されることから始まったこの形は、風景の片隅から、我々の中に何を刻み続けるのか。キュービクーライン、、、有機が生まれる。



作品名 **きすな**
 作者 小池 郁男 KOIKE Ikuo
 大塚 道男 OTSUKA Michio
 寸法 100(幅)×100(奥)×160(高さ)cm
 展示場所 町道石田・杵ヶ池線
 (にぎわいのステージ)

■コメント
 この、流動する時代の只中で、人々は抱えきれない程の不安に揺らぎ苦悩している。そんな中であって、我々を支えてくれているのは、人と人との絆である親子、夫と妻、男と女、老人と若者、隣人とわたし。支えあい、ほほえみあう、親子、そんなイメージを一個の石材により掘り出し表現してみた。



作品名 **風のなかに**
 作者 小池 郁男 KOIKE Ikuo
 寸法 50(幅)×50(奥)×180(高さ)cm
 展示場所 町道石田・杵ヶ池線
 (にぎわいのステージ)

■コメント
 120度は心理的に安定した角度といわれる。120度に切られたシャープな面と、丸みを持たせた重量感のある面とを造形化し、歩道側の建物(静)と車道側の車(動)を相対するフォルムとして一体化する。中央部に服らみを持たせ、緊張した面に柔らかさを与え、更にその部分にわんぐりとした凹みと二つの孔をあけることによって通過する風と光を感じさせる。



作品名 **空**
 作者 神田 每実 KANDA Tsunemi
 寸法 60(幅)×60(奥)×210(高さ)cm
 展示場所 町道石田・杵ヶ池線
 (にぎわいのステージ)

■作家歴
 1958島根県生まれ
 第68回二科展 特選
 第84回二科展 安田火災美術財団奨励賞
 現在 愛知県立芸術大学彫刻専攻助手

■コメント
 自然界のなかで最も強い存在の石。人間が作り出した素材の中で、最も強い金属。それらの素材に有機的な面や無機的な面を与え、構成し、「調和」を生み出す。それ自体が独立した風景としての。